

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート

No.15-2

PDCA	主要事業名	福祉センター管理運営事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当 内線	黒野 347
------	-------	--------------	-----	----------	----------	-----------

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：3 - 1 - 1 単位施策：地域福祉
全体事業期間：令和4年度～4年度 全体事業費等：4,452千円
会計 一般会計 歳出科目：03.01.04.02.01

事業概要等

事業概要：身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図る福祉センターの管理・運営を行う。
事業目的：身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図ることを目的とする。
事業内容：福祉センターの運営、設備管理、各種イベントの開催等を半田市社会福祉協議会に委託する。
問題点・課題等：施設の老朽化に伴い発生する様々な不具合への対応など。

予算額
4,452千円
財源内訳
市費592千円
国費0千円
県費0千円
その他3,860千円

主要事業とする理由

福祉センターを適切に管理・運営し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進を図る必要があるため。

得られる成果

利用者相互の交流を促進し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進に資することができる。

目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位
年間延べ利用者数	実績値	27,919	21,405	—	人
	目標値	71,000	30,000	30,000	人
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

D

実績値

決算額
4,477千円

得られた成果

利用者相互の交流を促進し、身体障がい者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉増進に寄与することができた。

成果指標		令和4年度	単位
年間延べ利用者数	実績値	21,496	人
	目標値	30,000	人

C

課題の整理

事業の評価・課題

C
新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉センターの活動の一部（カラオケや囲碁・将棋等）の制限を継続し、利用者には不便をきたすこととなったが、施設の管理運営上、利用者の安心・安全を最優先に考え、地域福祉の増進に取り組んだ。
また、2階障がい者用トイレウォシュレットの取替修繕を行うなど、利用者が心地よく利用できる環境整備に取り組んだ。

A

課題後の決方向性

改善推進

今後の事業の方向性

今後も利用者が安心・安全に利用できるように施設の管理運営に取り組むとともに、施設・設備の老朽化を考慮し、定期点検だけでなく日常点検を着実にを行い、不具合箇所等があれば適時適切に対応する。

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用